

会場MAP



横浜国立大学先端科学高等研究院
シンポジウムシリーズ第22回

IoT Security Forum 2016



プラチナスポンサー

Hewlett Packard Enterprise



ゴールドスポンサー

WEBROOT
Smarter Cybersecurity



FORTINET

SELTECH



日永インターナショナル株式会社

Check Point
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.



「IoT セキュリティフォーラム 2016」運営事務局

E-mail : iotsecurity-forum@impress.co.jp

受付時間：10:00 ~ 18:00 (土・日・祝日を除く)



問い合わせ先

9月15日 木・16日 金

Sola City Hall (東京・御茶ノ水)

主催

横浜国立大学先端科学高等研究院
株式会社インプレス



後援

独立行政法人 情報処理推進機構

参加
無料

テーマを拡充し、IoTセキュリティ技術の現状と課題を探る

IoT(Internet of Things)は、ネットワーク化された無数のセンサ、コントローラ、サーバ、クラウド等により創出されるサイバー空間を介して、実空間のモノや人が多層的につながる「新しい情報社会」の捉え方の一つであるといえます。現在進行中のIoTは、センサからクラウドまでが、生産管理や自動車や金融や医療といったドメインごとに、関連企業グループ等がある意味で垂直統合的に構築したもので、情報の利活用はクラウドを通じて行われる形式が主流のようです。しかし、多数のステークホルダーが入り乱れ、革新的なサービスを創出し、新たな価値を再帰的に産み出すことができる社会にIoTが健全に発展していくことを期待するならば、IoTに係る「セキュリティ」が大きな課題ではないかと私たちは考え、昨年9月に初回のIoTセキュリティフォーラムを1日会期で開催しました。

昨年のフォーラムはIoTセキュリティに特化した我が国初のフォーラムであったと思いますが、その時点で関心を呼んでいたIoTの話題を総括的に布陣したものであったにもかかわらず

、沢山の方々に参加していただき、企画に賛同する旨の沢山の激励のお言葉を頂戴しました。その後、IoTのセキュリティは誰もが重要な課題と認める状況が出現したことを踏まえ、本年は会期を昨年の倍の2日間として講演の種類と量を大幅に増やすと共に、主催が横浜国立大学先端科学高等研究院(IAS-YNU)であることを活かした多くの企画を用意し、多面的なIoTセキュリティについての最新の知見を語り合う場が提供できるように工夫を凝らしています。

本フォーラムは、昨年同様、ご協賛いただいた企業のご協力を得て開催されます。ご協賛企業の皆様、各種企画の成立にご尽力いただいたプログラム委員の皆様に厚くお礼申しあげますとともに、すべての参加者の皆様にとりまして今後のIoTのセキュリティに関して得るところの多いフォーラムとなることを願いつつ私の挨拶とさせていただきます。

プログラム委員長

横浜国立大学教授
(大学院環境情報研究院および先端科学高等研究院)

松本 勉



「IoTセキュリティフォーラム2016」プログラム委員会

委員長
松本 勉
横浜国立大学
大学院環境情報研究院／
先端科学高等研究院 教授

委員
井上 大介
国立研究開発法人 情報通信研究機構
(NICT) ネットワークセキュリティ研究所
サイバーセキュリティ研究室 室長

委員
小熊 寿
株式会社トヨタIT開発センター 研究部
社会システムG
シニアリサーチャー

委員
神田 雅透
日本電信電話株式会社(NTT)
セキュアプラットフォーム研究所
セキュアーアーキテクチャプロジェクト
主任研究員

委員
松野 裕
日本大学理工学部
応用情報工学科
准教授

委員
志度 昌宏
株式会社インプレス
IT Leaders編集部
副編集長

D-1 09:30~11:00 (90分) Debate Hour

攻撃者の意図を暴け
--攻撃者はIoTをこう攻める、ならばこう守る!

講演概要
なぜIoTはサイバー攻撃の標的となるのか?どのようなサイバー攻撃を画策されているのか?
攻撃側と防衛側が激しい議論を繰り広げるディベートセッション。
その論争の果てに、攻撃者が意図する攻撃理由や手法が明るみに。さらに、攻撃者の意図を理解したからこそ導出できる、効果的なセキュリティ対策を徹底議論。



笠間 貴弘 氏

国立研究開発法人
情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究所
サイバーセキュリティ研究室
研究員



竹森 敬祐 氏

KDDI研究所
ネットワークセキュリティグループ
研究マネージャー



林 優一 氏

東北学院大学
工学部
准教授



モダレータ

横浜国立大学
大学院環境情報研究院／
先端科学高等研究院
准教授



神薗 雅紀 氏

PwCサイバーサービス合同会社
上席研究員



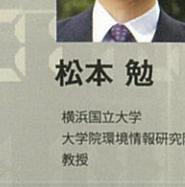
名和 利男 氏

PwCサイバーサービス合同会社
最高技術顧問



吉岡 克成 氏

横浜国立大学
大学院環境情報研究院／
先端科学高等研究院
准教授



松本 勉 氏

横浜国立大学
大学院環境情報研究院
教授

基調講演 / 特別講演

(A+B会場)

S-1 特別講演

11:10~11:40(30分)

9月15日 [木]

星澤 裕二 氏

PwCサイバーサービス合同会社
最高執行責任者

プロフィール

1998年に大手米国IT企業に入社し、インターネットセキュリティ研究所のマネージャーとして、セキュリティの研究や新規マルウェアへの対応、脆弱性情報の収集・分析などを担当し、国内におけるマルウェア研究における地位を確立。2004年10月、サイバーセキュリティ専門企業の設立に参画。最高技術責任者としてコア技術開発に従事。

IoTはサイバー攻撃の巣窟となるのか?

サイバー攻撃は、常に弱いターゲットを求めさまよい、新たな攻撃を創造し、安全神話の崩壊を招いている。そしてIoTの出現は、自動車や医療機器などへのサイバー攻撃を誘発し、人命を脅かしかねない新たなリスクさえ生み出した。そこで、IoTへシフトするサイバー攻撃を食い止めるには、何をすべきかを解説する。

K-1 基調講演

17:00~17:50(50分)

9月15日 [木]

Christopher Kruegel 氏

カリフォルニア大学サンタバーバラ校
コンピュータサイエンス学科
教授
上席特別教授

プロフィール

カリフォルニア大学サンタバーバラ校コンピュータサイエンス教授。米Lastline社共同創立者で主席研究者。2015年から横浜国立大学上席特別教授。コンピュータと通信のセキュリティ、特に有害ソフト分析・検知、ウェブセキュリティ、不正アクセス検知の研究に従事。主要コンピュータセキュリティコンファレンスでプログラム委員会に参加、BlackHat、RSACなどのイベントで講演。

angr--組込みソフトの脆弱性を探る

本講演では様々なIoTデバイス上で動作するファームウェアの脆弱性分析やバックドア検知を自動的に行う技術とこれを実現する静的解析システムangrを紹介する。angrは解析対象デバイスに観測用コードを挿入することを必要とせず、かつ、スケーラブルにバイナリレベルのファームウェア解析が可能な世界初のシステムである。

講演ではDARPA(米国防総省高等研究計画局)による世界で最初の自動プログラムによるCTF(Capture-the-flag:セキュリティ技術を競うイベント)であるCyber Grand Challengeにおけるangrの利用にも触れる。

K-2 基調講演

09:30~10:20(50分)

9月16日 [金]

鵜飼 裕司 氏

株式会社FFRI
代表取締役社長

プロフィール

2007年7月、セキュリティコア技術に関する研究・開発を主事業とする株式会社FFRIを設立。内閣サイバーセキュリティセンター「サイバーセキュリティ戦略本部 普及啓発・人材育成専門調査会」など、多数の政府関連プロジェクトの委員、オブザーバーを歴任。BlackHat - Content Review Board Member

IoT時代のセキュリティ脅威と今後の動向

IoTを活用したサービスがサイバー攻撃を受けた場合、情報のみでなく、物理的な被害をもたらすリスクも存在する。そのリスクに応じたセキュリティ対策がソフトウェアとハードウェアの両面で必要である。セキュリティカンファレンスの研究発表の紹介を通して、IoT時代に必要と考えられるセキュリティについて解説する。

S-2 特別講演

10:20~10:50(30分)

9月16日 [金]

岡崎 修二 氏

日本ヒューレット・パッカード株式会社
エンタープライズグループ事業統括 ネットワーク事業統括本部
市場開拓担当部長

プロフィール

日本ヒューレット・パッカード ネットワーク事業統括(通称HPE Aruba)において通信事業、公共・研究機関、民間企業のお客様向けにモバイル・IoTネットワーキングにおける次世代認証を基軸としたセキュリティソリューションの啓蒙と拡販を担当。

忘れていませんか? IoTサービス基盤を支えるネットワーキングを

インターネットの出現が壁のない世界を作り、スマートデバイスの躍進によって本格的なモビリティが始まった。そして遂に、デバイスの高度化と無線技術の進歩が、全てのヒト・モノ・カネ・情報を繋ぐIoT社会を支える重要な役割を担う瞬間が始まる。“単純につなぐだけではない” IoTネットワーク・セキュリティの本質について本講演で述べる。

AF-1 15:20~16:50 (90分) After Forum Session

で、IoTセキュリティって何なんでしょうね?

講演概要

日本のセキュリティ業界を躍進させる起爆剤か?はたまた壮大なバズワードか?2日間に渡るフォーラム終了後、若手 & おじさんハッカー、組み込みセキュリティの達人、海外セキュリティコミュニティの伝道師、セキュリティ人材育成の鬼が結集し、改めてIoTセキュリティとは何か、その実体と可能性について(ユルめに)大激論。

で、IoTセキュリティって何なんでしょうね?

講演概要

丑丸 逸人 氏

株式会社サイバーティエンス研究所
技術部 ハイナリアン分析官

竹久 達也 氏

株式会社ニッシン
技術部ソフトウェア課
テクニカルディレクター

園田 道夫 氏

国立研究開発法人
情報通信研究機構(NICT)
セキュリティ人材育成研究センター
研究センター長

モダレータ

井上 大介 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構
ネットワークセキュリティ研究所
サイバーセキュリティ研究室 室長

9月15日 [木] A会場

休憩 11:40~12:40 会場転換の為、一時退出頂きます。展示ゾーンをご覧ください。

「展示ゾーン」ではドリンクを提供しています。是非ご利用くださいませ。

A1-1 12:40~13:10(30分) セキュリティ設計



辻 宏郷 氏
独立行政法人 情報処理推進機構
技術本部 セキュリティセンター 情報セキュリティ技術ラボラトリー
研究員

プロフィール

1989年三菱電機株式会社入社。コンピュータネットワーク、分散処理システム、情報セキュリティ、サイバーセキュリティの研究開発・標準化活動に従事。2014年よりIPA研究員。現在、組込みシステムや制御システム、IoTのセキュリティに関する調査及びそれらの成果の普及活動に従事。博士(工学)。

A1-2 13:10~13:50(40分) セキュリティ設計



卵城 大士 氏
チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ株式会社
システム・エンジニアリング本部
セキュリティ・エキスパート

プロフィール

チェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズシステム・エンジニアリング本部でセキュリティ・エキスパートを務める。感銘を受けた言葉「通信は人をハッピーにする」これを阻害する要因の一つがセキュリティの課題であるという立場で長年ネットワーク・セキュリティの分野に携る。

A2-1 14:10~14:40(30分) クラウドセキュリティ



花岡 悟一郎 氏
国立研究開発法人産業技術総合研究所
情報技術研究部門高機能暗号研究グループ
研究グループ長

プロフィール

1997年東京大学工学部卒業。2002年同大学院工学系研究科電子情報工学専攻博士課程修了(博士(工学))。以降日本学術振興会特別研究員PDを経て2005年産総研入所。現在、産総研情報技術研究部門高機能暗号研究グループ長。効率的な公開鍵暗号方式の設計・安全性証明をはじめとする暗号・情報セキュリティ技術の研究開発に従事。英国計算機学会The Wilkes Award(2007年)、電子情報通信学会論文賞(2008年)、SCIS/イーベーション論文賞(2012,2014年)、電気通信普及賞(2004年)、SCIS20周年賞(2005年)、SCIS論文賞(2006年)、SITA奨励賞(2000年)等受賞。

A2-2 14:40~15:20(40分) クラウドセキュリティ



岩崎 和男 氏
フォーティネットジャパン株式会社
ビジネス開発事業部
特任部長

プロフィール

住友電工、シスコシステムズ、プロケットネットワークス等で新規市場開拓に従事した後、フォーティネットジャパンに入社。現在、主にIoTや産業用制御システム分野といった中長期的なビジネス開拓を担当している。



森山 正機 氏
フォーティネットジャパン株式会社
技術本部 第一技術部
シニアコンサルティングシステムズエンジニア

プロフィール

シスコシステムズ、トレンドマイクロ等でネットワーク、セキュリティのエンジニア、ソリューションアーキテクトに従事した後、フォーティネットジャパンに入社。現在は主に民需ビジネスのハイタッチSEとして活動している。

A3-1 15:40~16:10(30分) 制度 & 法律



小林 正啓 氏
花水木法律事務所
所長

プロフィール

1962年生まれ 1992年弁護士登録 2004年よりロボットやヒューマノイドと法律の問題に取り組む。年経済産業省次世代ロボット安全性確保ガイドライン検討委員会委員、総務省安心安全な社会の実現に向けた情報技術のあり方に関する調査研究委員、ロボット革命イニシアチブワーキンググループコアメンバー等歴任

A3-2 16:10~16:50(40分) 主催者講演



四方 順司 氏
横浜国立大学
大学院環境情報研究院/先端科学高等研究院
教授

プロフィール

京都大学理学部数学科卒業、同大学院理学研究科修士課程修了、大阪大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。東京大学研究員、横浜国立大学講師・助教授・准教授を経て、同大学教授。専門は数学・計算機科学・情報学に跨る理論研究。これまで英国計算機学会ウィルクス賞、文部科学大臣表彰、若手科学者賞をはじめ受賞歴多数。

IoT開発におけるセキュリティ設計の手引き

講演概要

IPAは、IoTのセキュリティ設計を担当する開発者に向けて、IoT機器およびその使用環境で想定される情報セキュリティ上の脅威と対策を整理し、参考となる情報をまとめた「IoT開発におけるセキュリティ設計の手引き」を作成・公開した。本講演では手引きのねらい・概要について紹介する。

9月15日 [木] B会場

休憩 11:40~12:40 会場転換の為、一時退出頂きます。展示ゾーンをご覧ください。

「展示ゾーン」ではドリンクを提供しています。是非ご利用くださいませ。

B1-1 12:40~13:10(30分) Webカメラを含むIoT機器の現状



吉岡 克成 氏
横浜国立大学
大学院環境情報研究院/先端科学高等研究院
准教授

プロフィール

2005年より(独)情報通信研究機構にてインシデント対策センター-NICTERの研究開発に従事。2008年より横浜国立大学にてサイバーセキュリティ研究開発を開始。2009年文部科学大臣表彰、総務省「国際連携によるサイバー攻撃の予知即応技術の研究開発」他、プロジェクトに多数参画。博士(工学)。

止まらないIoTマルウェア大流行とその対策に向けて

講演概要

カメラやデジタルビデオレコーダー、ルータをはじめ多種多様なIoT機器がマルウェア感染し他の機器に感染を広げたり、サービス妨害攻撃に荷担していることがわかつてきている。本講演ではIoTにおけるサイバー攻撃の観測とその対策に向けた研究開発の最新状況を説明する。

B1-2 13:10~13:50(40分) Webカメラを含むIoT機器の現状



John Siriani 氏
Webroot Inc.
Vice President,
IoTストラテジックパートナーシップ

プロフィール

重要なインフラを安全に運用するための革新的で効率的なサイバーソリューションをWebrootのテクノロジーパートナーに提供している。Siriani氏は、30年に渡り、航空宇宙、産業、統合運輸、小売、モバイルコミュニケーションなどのエリアで、高度に接続されたデバイスの開発と実装を行っており、豊富なエンジニアリング並びにビジネスの経験を持つ。

集中型IT/IoT企業に求められる リアルタイム・ネットワーク異常分析ソリューション

講演概要

調整中

B2-1 14:10~14:40(30分) Vehicleセキュリティ



松島 秀樹 氏
パナソニック株式会社
先端研究本部
課長

プロフィール

1998年、松下電器産業入社。1999年、米国駐在、電子音楽配信システムやSDカード著作権保護技術の研究開発に従事。2002年、R&D部門で耐タンバーソフトウェア技術や家電セキュアプラットフォーム技術の研究開発に携わる。2006年からプロジェクトリーダー。現在は車載中心にIoTセキュリティ技術の研究開発に取り組む。

コネクテッド時代における自動車のセキュリティ技術

講演概要

自動車の電子化・ネットワーク化が進む中、車載制御システムへの外部ネットワークからの攻撃が現実のもとのなりつつある。しかし、従来のITセキュリティ技術をそのまま適用するには、現在の車載制御システムには課題がある。本講演では、関連した標準化の動向も踏まえ、今後の自動車で求められるセキュリティ技術を紹介する。

B2-2 14:40~15:20(40分) Vehicleセキュリティ



岡 デニス 健五 氏
イータス株式会社
ESCRYPT - エンベデッドセキュリティ
シニア・マネージャー

プロフィール

ETASのエンベデッドセキュリティ(ESCRYPT)のシニア・マネージャーとして車載セキュリティのソリューションを提供し、コンサルティングを行なう。脅威分析、リスク分析、セキュリティ要件定義書の作成やセキュリティトレーニングやセキュリティテストに従事。

Automotive HSMのセキュリティアプリケーション

講演概要

コネクティビティや新技術の進歩とともに、自動システムの脅威が日増しに高まっている。また安全をゆるぎ、また財務に衝撃を与えるような、新しい様々なサイバーセキュリティの脅威も現れてきている。その結果、適切なセキュリティ対策を講じるべき、これらの脅威を理解することは喫緊の課題である。本講演では多くの脅威の事例を紹介し、これらの脅威がセキュリティのアプリケーションを駆使することで自動化されたハードウェアセキュリティのミュージールにとってどのように防止できるかについて検証する。

B3-1 15:40~16:10(30分) ネットワークセキュリティ



笠間 貴弘 氏
国立研究開発法人 情報通信研究機構
サイバーセキュリティ研究室
サイバーセキュリティ研究室
研究員

プロフィール

2014年3月横浜国立大学大学院環境情報学府情報メディア環境学専攻博士課程後期修了。博士(工学)。2011年4月より情報通信研究機構に研究員として入所。マルウェア解析やネットワーク攻撃観測・分析等サイバーセキュリティの研究開発に従事。2011年情報処理学会山下記念研究賞受賞。

NICTERは見た! - 大規模ネットワーク観測で紐解くIoTセキュリティ -

講演概要

情報通信研究機構では、インシデント分析センター-NICTERによる長期・大規模ネットワーク観測を行っているが、2012年頃より観測結果の傾向が大きく変化しており、それはマルウェアに感染した大量のIoT機器が原因であった。本講演では、NICTERの各種観測結果を通してIoTセキュリティの今を紐解く。

B3-2 16:10~16:50(40分) ネットワークセキュリティ



小林 達 氏
日永インターナショナル株式会社
ネットワークソリューション事業部
執行役員 事業部長

プロフィール

2006年 同社プロジェクトマネージャ(グローバルNW構築)
2008年 同社プロジェクト本部・IPシステム部本部長兼部長
2016年～現職
現ネットワークソリューション事業部 執行役員・事業部長
CCIE Routing & Switching (CCIE#22864)
ITストラテジスト・行政書士。

中小企業におけるネットワークセキュリティの勘所

講演概要

中小企業におけるセキュリティ対策は大企業と比べて対応が少なくて良いわけではない。一方で、専門スタッフを配置出来ないこともあり、十分な対策に手が届かない企業も多いのが実態ではないだろうか?そこには一種の「勘所」があり、マイナンバー対応など中小企業にも着実にセキュリティ対策にかかる負担が増している現状で、効率的に「必要かつ最低限の手を打つ」、「脅威」を中心に置いたアプローチを紹介する。

9月16日 [金] A会場

休憩 11:20~12:20 会場転換の為、一時退出頂きます。展示ゾーンをご覧ください。

「展示ゾーン」ではドリンクを提供しています。是非ご利用くださいませ。

S-3 10:50~11:20 (30分) 特別講演



菊池 浩明 氏
明治大学
総合数理学部
教授

プロフィール

明治大学院博士前期課程修了。1994年同博士(工学)。
(株)富士通研究所・東海大学情報通信学部を経て、2013年より明治大学総合数理学部先端
メディアサイエンス学科教授。
<http://www.isc.meiji.ac.jp/~kikn/profile2013.html>

IoTにおけるプライバシーの課題と保護技術

講演概要

IoTデバイスによるセンシングが盛んに行われている。顔画像などの情報は、それだけで特定の個人を識別する可能性があり、個人情報として十分な配慮をする必要がある。本講演では、これらのプライバシーにかかる注意点などを解説し、匿名加工などによるプライバシー保護の方法について述べる。

A4-1 12:20~12:50 (30分) ハードウェアセキュリティ



松本 勉
横浜国立大学
大学院環境情報研究院／先端科学高等研究院
教授

プロフィール

1986年東京大学大学院電子工学専攻博士課程修了、工学博士。同年横浜国立大学講師。
2001年大学院環境情報研究院教授。2014年より先端科学高等研究院を兼務。ネットワーク
・ソフトウェア・ハードウェアのセキュリティ、暗号、耐タンパー技術、生体認証、人工物メトリ
クス等の研究教育に1981年より從事。1982年にオープンな学術的暗号研究を目指した「明
るい暗号研究会」を4名で創設。2005年・2010年国際暗号学会IACR理事。電子情報通信学会
業績賞、ドコモ・モバイル・サイエンス賞、情報セキュリティ文化賞、文部科学大臣表彰・科学
技術賞等を受賞。

IoTを支えるハードウェアセキュリティと計測セキュリティ

講演概要

IoTのセキュリティ強化に不可欠な、高度な暗号やセキュリティ機能を実現するハードウェア、ハードウェアの
耐タンパー性・耐クローン性、ハードウェアの仕様と機能の乖離の解消(ハードウェアトローリー対策)、セ
ンサ等の情報取得段階でのセキュリティ(計測セキュリティ)といった、ハードウェアとセキュリティが絡むテ
ーマ群を扱う技術領域「ハードウェアセキュリティ」の重要性と近年の研究の盛り上がりについて紹介する。

A4-2 12:50~13:30 (40分) ハードウェアセキュリティ



江川 将偉 氏
株式会社SELTECH
代表取締役社長

プロフィール

1977年生まれ。大阪府出身。カリフォルニア州立大学航空宇宙工学専攻、半導体商社である(株)PALTEK、(株)トーメンエレクトロニクスを経て2009年に(株)SELTECHを設立、社長
に就任。

組み込み技術(半導体)から見るIoTセキュリティ

講演概要

ARM、Intel、MIPSといった主要CPU IPベンダーが、ソフトウェアレベルでのセキュリティ対策の限界と、ハード
ウェアレベルでのセキュリティ対策の必要性を訴え、実際にハードウェア支援機構を実装している。
本講演では、その理由とハードウェア支援機構を活用した弊社ハイパーバイザ「FOXvisor」を用いたIoT時
代のセキュリティについて発表する。

A5-1 13:50~14:20 (30分) ハードウェアセキュリティ



崎山 一男 氏
電気通信大学
大学院情報理工学研究科
教授

プロフィール

1996年大阪大学大学院基礎工学研究科博士前期課程修了後、日立製作所に入社、モバイ
ル向け半導体の設計・開発に従事。2003年UCLAでM.Sc.、2007年K.U. LeuvenでPh.D.を
取得。2008年電気通信大学准教授、2013年より同大学院教授。暗号工学、ハードウェアセ
キュリティ、サイバーフィジカルシステムの研究に従事。

トローリー攻撃に関する ハードウェアセキュリティ分野の研究動向

講演概要

ICチップ上にトロイの木馬を忍び込ませ、そこを拠点としてシステムに攻撃を仕掛ける「ハードウェアトロ
ーリー」が深刻な問題となることが知られている。本講演では、ハードウェアセキュリティ研究者が取り組む最
新の研究動向について分かりやすく紹介する。

9月16日 [金] B会場

休憩 11:20~12:20 会場転換の為、一時退出頂きます。展示ゾーンをご覧ください。

「展示ゾーン」ではドリンクを提供しています。是非ご利用くださいませ。

S-3 10:50~11:20 (30分) 特別講演

S-3講演のサテライト会場となります。

B4-1 12:20~13:30 (70分) DARKTRACE Hour



John Kirch 氏
ダークトレース・ジャパン株式会社
リージョナル・カンパニー
マネージャー 北アジア

プロフィール

日本のハイテク業界で25年間に渡りビジネス・ディベロップメント、マーケティング、営業の
要職を歴任。サイバーセキュリティ、組織・パフォーマンス・マネジメント(OPM)、音声・データ
通信の最先端技術を日本やAPAC主要市場の企業に提供してきた。米国カリフォルニア州
パロアルト出身、デューク大学を卒業後、日本の経済産業省によるISTプログラムの英学
で来日。



山口 智 氏
株式会社ビーエスアイ

プロフィール

2011年株式会社ビーエスアイに入社以来、セキュリティエンジニアとしてFortinet社および
チェックポイント社のファイアウォール製品のビジネスに従事。現在は様々な業界の情報
セキュリティ市場に対して、新しい概念を提唱するため活動中。

IoT時代のセキュリティ対策新機軸 ～機械学習を駆使し、未知の脅威をリアルタイム検知

講演概要

あらゆるモノがネットワークにつながるIoT時代。1つのデバイスにおける脆弱性は制御系システム全体の脆弱性につながり、脅威は企業活動のみならず産業全体に甚大な影響を及ぼしかねない。ますます複雑化・巨
大化するシステム全体の定常状態を機械学習で常に把握・可視化し、異常な挙動を即検知する、新時代のセ
キュリティ対策「Enterprise Immune System」について紹介する。

IoT 次世代のネットワークセキュリティ「違和感の可視化」

講演概要

IoT社会の次世代ネットワークでは、Windows以外の様々なデバイスの混在を前提としているため、デバイス
の種類に依存しない新しいセキュリティの概念が必要とされている。新ジャンル、セキュリティスイッチ FAS
と人工知能型セキュリティDarktraceによる、「違和感の可視化」について紹介する。

B5-1 13:50~14:20 (30分) フィンテック



岩下 直行 氏
日本銀行
決済機構局
審議役・FinTechセンター長

プロフィール

IoTは金融業界にもその影響を及ぼしつつある。特に、FinTechと呼ばれる新しい分野で、
IoTとの連動を意識した試みが進められている。本講演では、最近海外で発生したIoTと
FinTechへのセキュリティ侵害事例を参考に、技術とビジネスの両面から教訓を学ぶとともに、
そうした技術進歩がこれまでの金融にどう影響を与えるかを述べる。

B5-2 14:20~15:00 (40分) フィンテック



藤井 治彦 氏
バンクガード株式会社
代表取締役

プロフィール

博士(工学)、Two-Path User Authentication発明者(特許第3497799号、総務省・大手IT
学会協賛テレコムシステム技術省受賞)。NTT研究所出身(ノーベル賞候補も在籍する暗
号部門に在籍)。バンクガード(株)は、国内外の主なFinTech関連の賞を受賞。世界最大
のFinTechアクセラレーションプログラムStartupBootupBootCamp@Singaporeでは、34
か国300社応募3位合格。国内ではNTTデータ主催のベンチャーコンスト「豊洲の港」優
勝。英国・ルクセンブルグ・韓国首相・蔵相前登壇。

IoTとFinTechは金融をどう変えるか

講演概要

1984年慶應義塾大学経済学部卒、日本銀行入行。1994年に日銀金融研究所に異動し、以後約15年間、金融
分野における情報セキュリティ技術の研究に従事。同研究所・情報技術研究センター長、下関支店長、2011
年7月から日立製作所 情報・通信システム社に出向、2013年7月決済機構局参事役、2014年5月金融機構局
審議役・金融高度化センター長、2016年6月決済機構局審議役・FinTechセンター長。

中間者攻撃対策(取引認証)の従来技術の課題と解決策を探る ～スーパー乱数表はこう使え!

講演概要

ワンタイムパスワードは電池切れ・故障対応が必要でありTCOが増大する。スマート認証は乗っ取り攻撃を防
御できなかったり、適用可能者を限定する。本セッションでは、従来技術の安全性・経済性・利便性の課題を
指摘し、解決策としてのスーパー乱数表について説明を行う。またこれとセットにしたネットバンク不正ア
クセス保険の紹介も行う。